

森(もり)・盛(もり)・オホーツク



No. 7 平成27年9月11日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

山の日制定を記念して

幌岩山で森林散策



8月30日(日)、来年から祝日となる山の日(8月11日)制定を記念して「山に親しみ、山の恵みに感謝すること」を目的に「幌岩山森林散策」を行いました。

当日は、北見市を中心に30名の参加により佐呂間町浪速の登山道を展望台まで約1.8km、昼食を挟んで展望台から頂上付近の約0.5kmを散策し、クマゲラの食痕やエゾシカの食害、

ツルアジサイやイワガラミなどの植物を観察しながら心地よい汗を流しました。

天候にも恵まれ、展望台からはサロマ湖、オホーツク海だけでなく、遠く知床連山まで見通すことができました。

また、北見市からのバスの車中では、佐呂間町全域に広まってきているオオハンゴンソウ(特定外来生物)などについても説明し、自然・環境へ与える影響について考えていただくことをお願いしました。



オオハンゴンソウ

参加者からは、「単なる登山会だと思っていましたが、植物や自然の話などがありとっても楽しかったです。」などの感想がありました。

なお、当日は森林ボランティア「オホーツクの会」の皆さんにガイドサポートの協力をいただきました。

大きくな～れ！

企業活動を支援

9月5日（土）、北辰土建（株）&ボーイスカウトの活動支援として、総勢17名でカミネッコン植樹、木工クラフト作成を行いました。

北辰土建（株）では平成21年から森づくり活動を行っており、今年で7回目の活動となります。

午前中は、カミネッコンを組み立てた後、道路脇のミズナラの稚樹を掘り採り、カミネッコンを置く場所をきれいに刈り払い、平らにならして植えました。



午後からは、マツボックリや木の枝を使ったクラフト作成、ロケットラワン（飛ぶタネの模型）で年齢を忘れて楽しみました。

子どもたちの独創性、豊かな発想には感心するばかりです。



心を込めて…



東部森林室と意見交換会

「オホーツクの森」は広い…

8月28日（金）、オホーツク総合振興局東部森林室の木育担当（3名）をオホーツクの森に迎えて「国有林・道有林意見交換会」を行いました。

これは平成25年に北海道森林管理局と北海道で結んだ「北海道の森林づくりに関する覚書」に基づいた活動にむけての第1段階として、互いのフィールド・活動状況を知ることから始めたものです。

オホーツクの森の「古の森」遊歩道、展望台、自然再生モデル林（カミネッコン設置箇所）を案内しながら、当センターの取り組み、ボランティアの活動などについて紹介しました。



東部森林室の皆さんからは、「国有林のフィールドは広くてスケールが違う。それだけに苦労も多いことと思う。道も限られた予算、人員の中での取り組みで苦心しているが、今後さらに協力関係を築いていきたい。」との感想がありました。